

渡良瀬遊水地

ヤナギ・セイタカアワダチソウ 除去作戦

平成24年7月3日にラムサール条約湿地に登録された渡良瀬遊水地は、栃木・群馬・茨城・埼玉の4県4市2町にまたがる面積約3,300haの国内最大の遊水地として洪水から首都圏の生命・財産を守っているとともに、本州以南最大の湿地に絶滅危惧種を含む多くの貴重な動植物が生息・生育する自然の宝庫です。

一方、セイタカアワダチソウ等の外来種が遊水地内に急速に侵入し、貴重種を含む湿地性植物の生育に悪影響を与えています。

そこで、小山市では、渡良瀬遊水地の貴重な湿地環境と湿地性植物の保全を図るため、関係機関・団体やボランティアのご協力のもと、「ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦」を平成26年度から実施しており、3年間で延べ約8,500人のご参加をいただきました。

平成29年度も引き続き実施をいたしますので、たくさんの皆さまのご参加・ご協力をお願いいたします。みんなで渡良瀬遊水地の未来を守りましょう！

各回の詳細は

小山市ホームページ

<http://www.city.oyama.tochigi.jp>



渡良瀬自然ミュージアム

<http://www.watarase-museum.net>



又は 広報おやま
をご確認ください。

平成29年度 実施予定

5月20日(土) AM7:00~

7月15日(土) AM7:00~

10月28日(土) AM9:00~

12月 3日(日) AM9:00~

2月17日(土) AM9:00~

問合せ

小山市役所 渡良瀬遊水地ラムサール推進課
TEL. 0285-22-9354

<主催> 小山市、野木町、小山市教育委員会、ラムサール条約登録湿地「渡良瀬遊水地」第2調節池及び周辺地域生物多様性保全協議会（ラムサール湿地ネットわたらせ、日本野鳥の会栃木、渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会、わたらせ未来基金、ふゆみずたんぼ実験田推進協議会、コウノトリ・トキの舞うふるさとおやまをめぐす会）、小山市渡良瀬遊水地治水推進・ラムサール賢明な活用・周辺整備推進期成同盟会

<後援> 国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所、栃木県、一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団

受付・活動場所(環境学習フィールド3)までのアクセスマップ

※駐車場は、生井桜つつみ堤防上駐車場をご利用ください。

※環境保全の一環として、自動車はできるだけ相乗りによる参加をお願いします。



どうして「ヤナギ」や「セイタカアワダチソウ」を抜き取るの？



↑ヤナギ



←セイタカアワダチソウ

北アメリカ原産のキク科の外来植物で、ヨーロッパ、アジアに分布しています。日本には観賞用、蜜源植物として明治30年頃に導入され、1940年代以降急速に分布を広げ、現在では雑草化し全国で見られます。

繁殖力が強く、根から化学物質(毒素)を出し、他の植物の生育や種子が発芽するのを妨げます。遊水地内にも急速に侵入しており、絶滅危惧種を含む在来植物を駆逐してしまうおそれがあるため、徹底的に除去する必要があります。

渡良瀬遊水地内に生育しているヤナギは外来種ではありませんが、ヤナギの実生が密生して優占すると、絶滅危惧種を含む在来植物の発芽と生育が妨げられるため、除去する必要があります。

特に、環境学習フィールド等の掘削地では、掘削によって裸地になったところに、ヤナギの種子が飛散・発芽し、実生が密生してしまうことから、ヤナギの抜き取り(大きいものは剪定ばさみ等で刈り取り)は湿地再生の掘削地を重点的に行っています。